

製品名: HXK III ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab12310**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	99kDa

抗原情報

遺伝子名	HK3
別名	HK3; Hexokinase-3; Hexokinase type III; HK III
遺伝子 ID	3101.0
SwissProt ID	P52790
免疫原	抗血清はヒトヘキソキナーゼ 3 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 811-860

背景

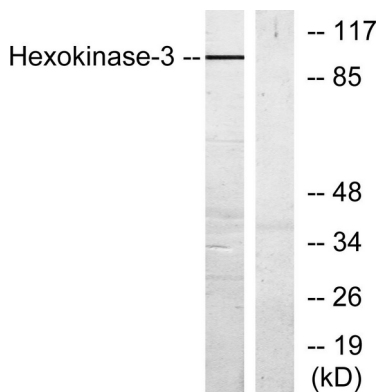
ヘキソキナーゼはグルコースをリン酸化してグルコース-6-リン酸を生成します。これはほとんどのグルコース代謝経路の第一段階で

す。この遺伝子はヘキソキナーゼ3をコードしています。ヘキソキナーゼ1および2と同様に、このアロステリック酵素は生成物であるグルコース-6-リン酸によって阻害されます。[RefSeq 提供、2009年4月],触媒活性: ATP + D-ヘキソース = ADP + D-ヘキソース-6-リン酸。 ,ドメイン: このヘキソキナーゼの N 末端側と C 末端側の半分は、互いに広範な配列相同性を示します。触媒活性は C 末端に関連し、調節機能は N 末端に関連する。 ,酵素調節:ヘキソキナーゼは、その生成物である Glc-6-P によって阻害されるアロステリック酵素である。 ,その他:脊椎動物には、ヘキソキナーゼ I、II、III、IV (グルコキナーゼ) と呼ばれる 4 つの主要なグルコースリン酸化アイソザイムが存在する。 ,オンライン情報:ヘキソキナーゼのエントリ,経路:炭水化物代謝; ヘキソース代謝。 ,類似性:ヘキソキナーゼファミリーに属する。 ,サブユニット:モノマー。 ,

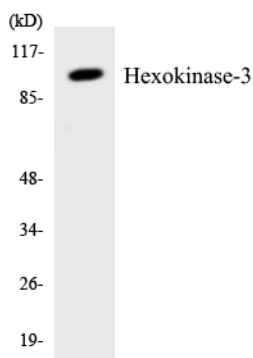
研究分野

解糖系/糖新生;フルクトースおよびマンノース代謝;ガラクトース代謝;デンプンおよびスクロース代謝;アミノ糖およびヌクレオチド糖代謝;インスリン受容体;2 型糖尿病;

画像データ



インスリン 0.01U/ml を 15 分間処理した Jurkat 細胞ライセートのヘキソキナーゼ3抗体を用いたウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



ヘキソキナーゼ-3 抗体を使用した COLO205 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。